

# たんほほ

本 立

早いもので、開所以来、50日  
がたちました。現在26名の方が  
入所されています。見ておらず  
と、一人一人癖や様子が違って  
います。よくぞこんなにも違っ  
てるものだと感心しております。

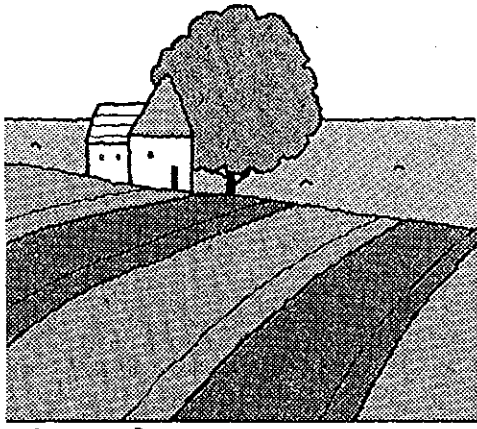
今まで生活していた家庭や施設な  
どから「三気の里」に來られて未  
だ、新しい生活環境の中で自分  
リズムをつかみかねているよう  
です。戸惑いや、遠慮や不可解な  
の為に「三気の里」でそれぞれの  
障害の上に立った本来の姿は未だ、  
見せてくれないようです。

生活に慣れ、職員とも仲良くなっ  
て思う存分ありのままを出して  
くれた時、子供達の本音に触れる  
ことができるのではないかと思  
います。療育も又、そのときから本  
当に始まります。

No. 2  
S 62. 6. 25  
一 発行 一  
〒 869-12  
熊 不 巢 菊 池 郡  
大 津 町 森 54-2  
社 会 福 祉 法 人  
三 気 の 会  
三 気 の 里  
Tel 096-293  
8100

職員も親も未だ、本音は出して  
いないと思います。それらがぶつ  
かりあったとき「三気の里」の人  
の和が本当に問われることにな  
ります。

昭和62年6月  
理事長 田中 稔



## 6月のうた 雨ふりくまの子

1. おやまにあめがふりました。  
あとからあとからふってきて、  
ちよろちよろおがわができました。
2. いたすらくまのこかけてきて  
そう、とのおいてみました  
さかながいるかとみました。
3. なんにもいないと  
くまのこほ おみ  
すまひとくちの  
みました。おてび  
まくてのみまし  
た。



新しい仲間さん!!  
三気の里に新しい仲間が増え  
ました。けんちゃん、ひろし君  
けいぞう君の元気な声は、皆に  
6月8日9日の入園式は、あいに  
くの雨だ、たのですが、みんな  
で「雨ふりくまの子」を歌って歓  
迎しました。お母さんと別れる時  
は、ちよびり寂しそうに顔をす  
たさんたりと一晩寝たらもうす  
かり元気になつてきました。今  
では、おやうじも作業し他の仲間  
達と一緒に頑張っています。  
26名の仲間達、仲良く頑張ろう!!

# 療育について

## 「待つこと」

土井尚典

「南園して2ヶ月足らずです。待つこと」を主体にして子供達を指導して来ました。今では叱ることもできる関係まで仲良くなることが出来ました。

「待つこと」の方法を御紹介し、皆様の助言がいたただきたいために以下御紹介します。

自闭症者たちの苦手な事の一つとして、指示された事を「自分の意志」で動くことができないこととです。

調子が良いときには良くやってくれるのだけれども悪くなると全然や、てくれなれないとか、好きなこととは一生懸命やるけれど嫌いなことは「が」としてやらなれないとかです。

このことは健常者でも同じ事だと思えます。嫌な時や嫌な事では

もかマンしてやる事ができるかどうかだと思えます。

はじめた出会、た子供達に「マン」の指導をすることは大変難しいこととです、そこで「本人が納得して動く」という方法の一つとして「待つこと」を実行しました。

園内に入ることを拒否する子供、ホムルムに参加するのを拒否する子、作業に付くことを拒否する子をどうしたら良いかという方法の一つとして考えました。

子供たちは「○○」をしなくないという気持ちの背景に「○○」しなくてはいけないという気持ちの芽があると思うからです。

その小さな芽を手がかりにやていくわけです。

「○○しようよ」とさそうと「イヤ」と抵抗します。何度か「イヤ」声かけしきやいますと「イヤ」と激しく抵抗します。すると知らぬ間に「○○」という同じロジック(話題)でやりとりしている場面が出来あがり、子供と職員の間は同一線上で精神的かかわりをや、ているわけです。

例えば職員は「布団を片づけさせ

たいと目的の方向を持ち、子供は「布団を片付けたくない」という抵抗をしますが「布団を片づける」ということは同じロジックでやりとりをしていく訳です。両者の気持ちと同じ場面で火花を散らしていることになり、興奮していきなり子供が顔は上向き興奮していきなり「パニックを起す」の緊張です。職員は「パニックを起さず」の緊張です。職員は「パニックをおこりやうになる」といかに無視しているかのようになり、目をそらし静まるのを待ちます。

静まるのを待つ、て又、声かけをします。「布団を片づけようよ」という具合です。

すると子供はすぐに興奮します。「あ、ちへ行け」と激しく動作を示します。すると無視しているかのようになり、振り舞います。そして子供と職員の間は「無理矢理に押しまくって来ないこと」がわか、てきます。すると職員がそこに居ることを認めてく、小る様になります。しめたものです。少しづつ子供がここを聞いてきます。

そのすきに入りこみます。具体的には同じ声かけです。あくまでも子供の意志で動くようにさせます。

職員は一度ききかけたら目的の方向に動いてくれるまで、その場でわびります。決して声かけ以外の方法を使いません。声かけの肉隔が30分に一回のこともあります。その向は言葉のない背中と背中の緊張が続きます。その緊張がゆるむ肉隔が少しづつ短かくなると来ます。

ゆるむごとに声かけをします。そしてだんだん職員の意志が伝わり出します。完全に伝わる時動いてくれます。時には時間近くかかることもありました。今では30分が目安になりました。

子供が心の中にだんだん早く入れてくれるようになって来ました。待つことは子供が納得して動くまでささいかきをするこゝとです。こゝとばを使ったり、こゝに居るだけでささいかきの意味になつたりもします。子供の緊張がゆるむ瞬間を

と待ち、ささいかきをするこゝとです。決して無理なささいかきにならないようにすることです。

とところで、待つことは決して消極的方法でないと考えます。待つことは子供の側から考えますと職員の目的の方向に結局は動かされていくことになり、しかも本人の意志が無視されているのではなく、本人が納得して動いていることです。

又1000したらお菓子とあげると等の交換条件を出すことなると動いている訳ではありません。更に指示に対して時間的に早く行動を起こすことは緊張が早く解けて本人が楽になること、体験します。そして相手(職員)も楽になります。よろこぶことがわかって来ます。

又、もう一つの積極的な意味は自閉症者の不得手な相手の顔を見ることもおこります。得に緊張場面では緊張がゆるむ目安としてつかっています。子供がほんの一瞬、相手の顔をチラッと見るこゝとです。

アイコンタクトをさせようとしてひ仲々できない子が自ら相手の

の顔を見てくることば驚きや、え感じます。こういうた意味でも積極的方法として活用できると考えています。(園長)

**厨房**

私達、四人が園生の食事作りを始めて、二月が過ぎようとしています。

最初頃は定刻に食事を作り上げる事が精いっぱい、園生の名前もなかなか覚えられませんでした。でも今では、声だけで足音だけで、誰かわかる程になりました。園生も最初はセリフで「エスに戸惑い」がちで、おかしさを取り忘れる手や、ひっくりかえす子が多かったです。今はほろりと取って食べれるようになったし、後片づけも上手に出来るようになった。なりました。

食べ盛りの子ばかりなので、おかわりもたくさん来て、あ、と言う間になくなり、後からおかわりに来た手ばかりして帰っていく事もあります。

これから暑い暑い夏がやってくる。園生の健康状態により気を配り、元気を楽しく過ごせるように、私達四人が合せて、おしく、食事も作るように頑張ります。





# 保護者の窓

<1>

## 入園一ヶ月に際して

益田 重入

子供を手放す日が近づくと四月末は毎日「」が落ちつくことができず不安と焦燥感が続く苦しい日々が続いてきた。何気ない子供の動作に生後これ迄一緒に過ごした生活が思い出され、鬼の目に涙と言いますが、思わず涙ぐむ日が多くありました。

親の手許にはかり置いてはとあんなに考え、夫婦ともが快にしました。次女ですが、親子の情は理屈ではなかなかに割り印のないもので、親として思うとおりの教育、躾をしてやることで、さす。また成長させず、申し訳ない気持ちで子供の人間教育をお願ひした次女です。

今は親子の楽しみを毎週の週末に見出し、土曜の午後は三気

の里迄迎えに行っています。成長の有り様を教えて頂き、これ迄のつらい思いが少しづつ解きほぐされる思いがします。毎週の帰宅、帰寮時の子供の行動を見て、この子にない心の内面がのぞける思いで精神面の成長がほじまった感じがします。園長先生から20才を慶ととしてやり直しました。うと敬えて頂きました。思いもかりない希望の灯、た言葉でした。

親として三気への人根気、元気を座右の銘に子供共々近い将来か、遠い将来か判りませんが、子供が家庭の座につくことを目標に修養を続けていきたいと念じております。



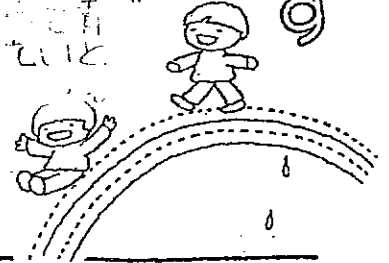
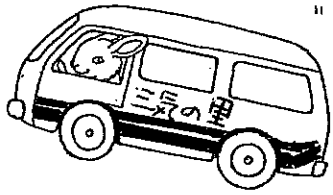
## にゅうす

三気つ里号登場

白のボディに、青と赤のラインが光った。三気つ里号が、お目見えしました。

三気つ里号が登場してからは、園内作業に留まらず、活動半径も屋外へと拡がり、作業活動内容も、一層充実してきました。

作業を通して、あるには、余暇の時間に、野や川、物には、街へ買い出し、三気つ里号で、とんとん出かけていく予定です。



# 保護者の窓

<2>

## 入所して思うこと

### 魚谷 郁子

長男、潔が自閉症というハンディをひいて歩み始めて十八年、潔なりにある程度恵まれていたとは思いますが、将来の見通しは立たず、心の片すみについて、いつも不安を持ち続けておりました。

この度、永い間の念願がかなって、三気の里へ入所させて頂き、またたく間に一月余が過ぎました。これまでにも実に多くの人々にめぐり合い、温く支えて頂きました。しかし自閉的傾向の強い潔にあっては、居心地のいい時ばかりではありませんでした。

今、子供のすべてを理解して頂ける三気の里へ落ちついたらこそ、非常に嬉しく思います。親の気持ちを最も理解して下

さって、いる理事長先生、自閉症を大変よく研究され、温く御指導下さる園長先生を中心に、若さで情熱を傾けて下さる先生方に見守られながら、これからの人生を過ごすことのできる子供を大変幸に思います。

玄園を入ると、潔の十八年向を集大成したように、園生一人一人の一挙一動に潔のあの日のあの頃を思い出します。部屋には個人のスペースが保たれており、緊張の多い集団生活の中で、ここに心安らぐ一時を得られることは自閉的な子供にとっては願ってほしいことでしょう。又、食堂のセルフサービスにも子供は多くのことを学ぶことでしょう。その他、生活の一つ一つに細やかな配慮がなされ、園生一人一人に風夜を分たず奔走される先生方に頭の下る思いです。



先生方の御苦労をかい間見ながら、せめて保護者として出来ることは少しでも多く協力していかねばと思います。辛い近距離でもあり、三年生に苦労して取った運転免許も大いに役立ちそうです。

永い間には、思うにまかせない時もあるかもしれませんが、のん気、根気、元気で子供の成長を末永く見守っていきたいと思います。

(保護者)

## 《トピックス》

去る6月18日(木)、三気の里の畑にりっぱなキュウリができていたので、皆んなでおいで食べました。四班(豊耕班)どうもありがとう。

と、つてもとつてもおいしかつたよ。



後援会でききる!

今回、三気の会を決さんの万々か御支援して頂くことになりました。三気の里が大きく育っていくことを願って人の輪が出来つつあります。本当に有難いです。とっしとっしと人の輪が広がりますように!!

- |       |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 赤坂政紀  | 天津政博  | 伊佐二久  | 井芹嘉久  | 井芹靖成   |
| 石井暁子  | 市川かよ子 | 今井英雄  | 一門恵子  | 魚住信義   |
| 江藤忠一  | 小篠武明  | 尾田正幸  | 緒方 慧  | 尾道幸子   |
| 小田博子  | 大村健一  | 小山浩徳  | 坂本 裕  | 木嶋 隆   |
| 榊嶋尚志  | 金子豊丞  | 門田信成  | 加藤レイ子 | 金子文秀   |
| 金森英子  | 甲斐憲彦  | 清藤文弘  | 木下史子  | 清田栄一   |
| 木山程荘  | 藏元昭一  | 楠本行彦  | 合田幸助  | 小野野ミチ子 |
| 古賀康義  | 古賀吉子  | 小森好美  | 米田 正  | 小島英俊   |
| 五島建夫  | 阪口俊一  | 紫藤忠博  | 徳崎久五  | 嶋田 遠   |
| 園田 卓  | 田尻宗諒  | 田中良憲  | 田中 剛  | 高橋頌慈   |
| 高木建一  | 立山シズエ | 富田祐子  | 中道廣龍  | 成尾公子   |
| 中村正則  | 中野伶子  | 中田康則  | 中田三恵  | 萩尾容山   |
| 林田崇宏  | 服部陵子  | 服部俊治  | 服部安紀子 | 服部新三郎  |
| 林田純子  | 日隈美智  | 平島喜久子 | 東大森 勝 | 舟木 且   |
| 伏賀直美  | 古家あさお | 星田正勝  | 松本英明  | 松原三保子  |
| 松田泰子  | 牧野幸子  | 宮中達子  | 三井 喬  | 向井隆一郎  |
| 守 宏繁  | 百崎末雄  | 森田国勝  | 本垣二千博 | 鎗水史朗   |
| 安武美紀  | 笠 盛中  | 河北靖夫  | 白男川史朗 | 四宮朝子   |
| 有馬幸雄  | 岩永敬済  | 井手上公一 | 牛島敏幸  | 魚谷秀文   |
| 岡本寅雄  | 下出益雄  | 橋村一徳  | 福田春幸  | 益田重久   |
| 村上順太郎 |       |       |       |        |
| 岡崎勝哉  | 桜木勇夫  | 島津健二  | 高木幹二  | 林 千沙子  |
| 渡辺 蒼  | 荒牧幹雄  | 金森 保  | 竹下雅啓  | 東島龍二郎  |
| 石塚正司  | 江島謙一  | 川上 隆  | 北島照明  | 木原信人   |
| 兼坂一子  | 米納達男  | 大西二郎  | 才畑敏春  | 坂田 博   |
| 前田一真  | 松岡勝海  | 村上淳一  | 脇島義郎  | 渡辺正司   |

敬称を略させて頂きました。

世話人の方々

篠崎又五様, 下出益雄様, 魚谷秀文様

862, 6.20 現在



★7月の行事予定★

7日、セク祭り

11日、帰宅訓練日

20日、誕生会(6月7月生まれ)

22日、実習生受け入れ (8月1日まで)

御 礼

石鹸、タオル、洗剤等をはじめとする日用品、教材、教具などの御寄付を戴き有り難うございました。大切に使用させて頂いております。(園長)

編集後記

やと編集を終えて私達、ホッと一息ついてるところです。で、き上がったという安心感と共に次回への意欲が湧きはじめています。よーし次回もしっかりがんばり一まわりも成長した、たんぽぽだよりをおとけーたいと思っております。未長く、御愛読の程よろしくお願ひ致します。

(浪多野、大塚)